

## 事前評価調書

I 事業概要																																																																			
事業名	農業農村整備事業（経営体育成基盤整備事業）																																																																		
地区名	むろめいじ 牟呂明治地区																																																																		
事業箇所	豊橋市 <sup>むろちよう</sup> 牟呂町																																																																		
事業のあらまし	<p>本地区は、豊橋市の西部に位置し、江戸時代に一級河川豊川の河口の干潟を干拓して新田開発された受益面積 71.5ha の水田地帯である。本地域では、水稻を主体に、キャベツ等の露地野菜やトマト等の施設野菜を主とする畑作が展開され、県下有数の農業地域となっている。</p> <p>本地域は、1966 年から 1968 年にかけて、団体営ほ場整備事業により基盤整備が行われているものの、整備後約 50 年が経過していることから、用水路は老朽化に伴う破損・漏水、躯体の沈下などにより、安定通水に支障をきたしている。また、現況ほ場は小区画であるため、営農効率が悪くなっている。</p> <p>本事業は、用水施設の再整備を行うと伴に、ほ場の大区画化を実施することによって営農条件を改善し、担い手への農地集積を進め、農業経営の安定を図る。</p>																																																																		
事業目標	<p>【達成（主要）目標】</p> <p>用水施設の整備及びほ場の大区画化により省力化及び営農効率の向上を図り、担い手への農地利用集積の拡大を図る。</p> <p>【副次目標】</p> <p>—</p>																																																																		
事業費	事業費		内訳																																																																
	4.9 億円		■工事費 3.5 億円、■用補費 0.3 億円、■その他 1.1 億円																																																																
事業期間	採択予定年度	2022 年度	着工予定年度	2023 年度	完成予定年度	2027 年度																																																													
事業内容	区画整理 10ha、用水路工 9km																																																																		
II 評価																																																																			
①事業の必要性	1) 必要性	<p>本地区の用水路は整備後約 50 年が経過していることから老朽化が進み、破損・漏水、躯体の沈下などにより、安定通水に支障をきたしている。また、現況ほ場は小区画であるため、営農効率が悪くなっている。その結果、多大な経費と労力が必要となり、農業経営を圧迫する状況となっており、早急の対応が望まれている。今後も活発な営農状況を維持していくためには、用水路の再整備及びほ場の大区画化を行うことが必要不可欠である。</p> <p>また、「新たな土地改良の効果算定マニュアル(2015 年 9 月農林水産省農村振興局整備部監修)」に基づき算定した B/C は 1.1 で 1.0 を超えている。</p>																																																																	
	判定	A	<p>A：現状の課題又は将来の予測から事業の必要性がある。</p> <p>B：現状の課題又は将来の予測が十分把握されていない。</p> <p>【理由】</p> <p>将来にわたって安定的な営農を継続するために、用水路の改修や狭小な農地の大区画化によって、営農条件を改善する必要がある。</p>																																																																
②事業の実効性	1) 事業計画	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>2022</th> <th>2023</th> <th>2024</th> <th>2025</th> <th>2026</th> <th>2027</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">工種区分</td> <td>調査・設計</td> <td>←→</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>補償補填</td> <td></td> <td>←</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>→</td> <td></td> </tr> <tr> <td>工事</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・区画整理</td> <td></td> <td>←</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>→</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・用水路工</td> <td></td> <td>←</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>→</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">事業費(億円)</td> <td colspan="5">4.5</td> <td>0.4</td> <td>4.9</td> </tr> </tbody> </table>								2022	2023	2024	2025	2026	2027	合計	工種区分	調査・設計	←→							補償補填		←				→		工事								・区画整理		←				→			・用水路工		←				→		事業費(億円)		4.5					0.4	4.9
			2022	2023	2024	2025	2026	2027	合計																																																										
工種区分	調査・設計	←→																																																																	
	補償補填		←				→																																																												
	工事																																																																		
	・区画整理		←				→																																																												
	・用水路工		←				→																																																												
事業費(億円)		4.5					0.4	4.9																																																											

	2) 地元の合意形成	土地改良法に基づく地元申請の事業であり、地元の合意形成は図られている。	
	判定	A	A： 事業計画の実効性が期待できる。 B： 事業計画の実効性が期待できない。
		【理由】 地元の合意形成が図られており、実効性が期待できる。	
<b>Ⅲ 対応方針</b>			
事業実施が妥当である。	事業実施が妥当である。： 上記①及び②の評価がすべてA判定であるもの。 事業実施は妥当でない。： 上記以外のもの。		
<b>Ⅳ 事後評価実施の有無と主な評価内容</b>			
<p>■対象（事業完了後5年目） <input type="checkbox"/>対象外</p> <p>【事業完了後5年を越えて実施する理由・対象外の理由】</p> <p>—</p> <p>【主な評価内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・担い手農家への農地利用集積率</li> </ul>			